

可能性感覚

MÖGLICHKEITSSINN

中欧におけるもうひとつの精神史

大川 勇

OOKAWA Isamu

SHORAISHA
松籟社

可能性感覚——中欧におけるもうひとつの精神史

凡例

- 一、本文中の「」は、著者による補足・註記を示す。
- 一、本文中の「[23]」……といった数字は、註番号を示す。註は一括して巻末に記載した。
- 一、本文中の(一九一〇—一九七七)といった数字は、該当人物の生没年、もしくはその人物による著作物の発行年を示す。
- 一、本文中、および引用文中の「……」は、著者による「中略」「以下略」「前文略」を示す。
- 一、巻末に文献一覧を収めた。邦訳のある文献については、読者の便のために邦訳書名などを記した。また、邦訳文献からの引用にさいしては、著者の判断で訳語・訳文を変えた場合がある。参照させていただいた訳者の方々に感謝する。

目次

第1章

可能性感覚の射程

| | | |
|----|---------------------------|-----|
| 01 | 可能性感覚——偶然性、多元主義、ユートピア | 013 |
| 02 | 可能性感覚と現代——人工生命、宇宙論、ポストモダン | 016 |
| 03 | 「正しい生」の探求——相対主義に抗して | 021 |
| 04 | モラルとユートピア——多元主義の位相 | 026 |
| 05 | 可能性感覚の射程 | 030 |

第2章

可能世界論の情景

| | | |
|----|---------------------------------------|-----|
| 01 | 可能性感覚とライブニッツ | 042 |
| 02 | ウルリヒとライブニッツ | 045 |
| 03 | ライブニッツの可能世界論(1)——『形而上学叙説』『アルノーとの往復書簡』 | 048 |
| 04 | ライブニッツの可能世界論(2)——『弁神論』 | 060 |
| 05 | 可能世界論と可能性感覚 | 072 |

第3章

可能的世界の夢

- 01 悪はどこから生ずるのか——アウグスティヌス『告白』『神の国』……………083
- 02 最善世界は未来に——ライブニッツ『弁神論』……………093
- 03 ユートピアの生成——ヴェラス『セヴァランブ物語』……………113
- 04 生成するユートピア——シュナーベル『フェルゼンブルク島』……………132

第4章

世界の複数性

- 01 われわれだけではない——NASA、ローエル、ウエルズ……………152
- 02 世界の複数性（古代）——エピクロス、ルクレティウス、ルキアノス……………166
- 03 世界の複数性（中世・近代）——クザーヌス、ブルーノ、フォントネル……………178
- 04 ニュートンは一匹の猿——カント『天界の一般自然史と理論』……………191
- 05 存在の連鎖の時間化——メルシエ『紀元二四四〇年』……………205
- 06 惑星ユートピア——ヴィーラント『罪なき人びとの世界の相貌』……………215

第5章 反転する世界

| | | |
|----|------------------------------------|-----|
| 01 | 反ユートピア | 228 |
| 02 | 反エントロピー——ザミヤーチン『われら』 | 233 |
| 03 | 千年王国、あるいはユートピアの収束——ムージル『特性のない男』 | 239 |
| 04 | SF、あるいはユートピアの複数性——ムージル『南極の国』『惑星エト』 | 257 |
| 05 | 異世界、あるいは越境する精神——カネッティ『人間の地方』 | 278 |

第6章 可能性感覚の誕生

| | | |
|----|------------------------------|-----|
| 01 | ムージルにおけるオーストリア的なもの | 298 |
| 02 | 偶然の愛——ムージル『愛の完成』 | 312 |
| 03 | 偶然の死——ホーフマンスタール『第六七二夜のメルヒェン』 | 319 |
| 04 | 世紀転換期ヴェーリンの磁場——マツハ『感覚の分析』 | 324 |
| 05 | マツハと可能性感覚——ムージル『マツハ学説判定への寄与』 | 330 |

第7章

可能性感覚と現実感覚

| | | |
|----|--|-----|
| 01 | 文学と哲学のあいだで——マイノングへの手紙 | 340 |
| 02 | マイノングの対象論——『対象論について』 | 346 |
| 03 | 対象論と可能性感覚 | 359 |
| 04 | ユートピアとしての文学——バツハマン「ムージル・エッセイ」「フランクフルト講義」 | 375 |

第8章

可能性感覚とユートピア

| | | |
|----|--------------------------------|-----|
| 01 | ユートピアの葬送——ボーラー「毀れたユートピアと詩人たち」 | 391 |
| 02 | 現実を超越する意識——マンハイム『イデオロギーとユートピア』 | 398 |
| 03 | ヴィーンとブダペシュトのあいだで——周辺人の思考 | 414 |

註

| | |
|------|-----|
| あとがき | 429 |
| 文献一覧 | 480 |

可能性感覚——中欧におけるもうひとつの精神史

著者紹介

大川 勇 [おおかわ・いさむ] OOKAWA Isamu

1955年松山生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程中退。

京都大学総合人間学部，同大学院人間・環境学研究科助教授。

京都大学博士(文学)

専門はドイツ・オーストリア文学，中欧精神史。

主要著訳書に『ムージル 思惟する感覚』(共著，鳥影社)，

エーバーハルト・ヒルシャー『文学的世界像——七人の

ドイツの作家たち』(共訳，クインテッセンス出版)など。

かのうせいかんかく ちゅうおう せいしんし
可能性感覚——中欧におけるもうひとつの精神史

2003年2月20日 初版発行

定価はカバーに
表示しています

著 者 大川 勇
発行者 相坂 一

〒 612-0801 京都市伏見区深草正覚町 1-34

発行所 (株) 松 籟 社

SHORAISHA (しょうらいしゃ)

電話 075 - 531 - 2878

Fax 075 - 532 - 2309

振替 01040-3-13030

印刷 亜細亜印刷(株)

製本 吉田三誠堂製本所

Printed in Japan

©2003

ISBN 4-87984-223-0 C0010